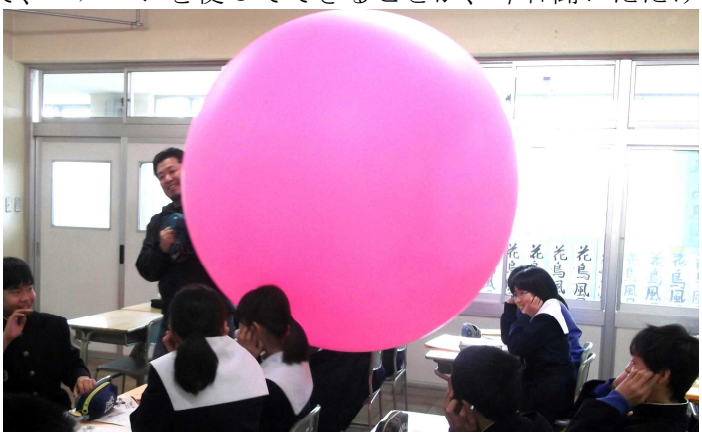
職業セミナーを振り返って

民泊経営とアスレチックトレーナーをされている講師さんから話を聞いて、苦労することやその仕事のいい所がすごくよく分かりました。働くには、自分で会社をつくるなど、いろいろな方法があることも分かりました。ただ、すべては、自分から動かないと何も始まらないことも分かり、それが心に残りました。自分のやりたい理想の仕事を探すのは、自分にとっては大変なことかもしれないけれど、「焦らずゆっくり考えればいい」という講師さんの言葉を忘れずに、これから将来のことを考えていきたいです。自分の直さないといけないことも分かったので、やりたい仕事を見つけたときには、その仕事に向けて一生懸命、努力したいです。

（１年１組　　）

バルーン制作をしている加藤さんのお話を聞いて、バルーンを使ってできることが、今日聞いただけで８つもあることを知りました。身近なバルーンアートから大きなアドバルーンまで、バルーンを使ってできることがたくさんあり、すごいと思いました。また、バルーンならではの性質を生かし、演出に使うということやバルーンでしかできないことを教えてもらい、驚きました。「バルーンには可能性がありすぎるから、仕事を楽しく続けられている」というお話を聞いて、私も将来は、そのように思える仕事に就きたいと思いました。お話を聞けてよかったです。



（　１年１組　　）

今回の職業セミナーで、ネイリストさんのお話から、お客様の意見を尊重したり、今の流行やトレンドを知るために努力したりしていることが分かりました。ＳＮＳ、ツィッター、インスタグラム、雑誌、モデルさんの爪などをチェックし、「日々勉強」しているという言葉が心に残りました。そして、お客様の要望に応えようとするネイリストさんたちは、本当に仕事が好きなんだなと感じました。パティシエさんのお話では、その仕事に就くために専門学校に通い、たくさんのケーキを作っていると聞いて、専門学校を卒業するまでにも、とても大変なことが多いのだと思いました。パティシエになってからも、クリスマスなどには１日約５００個のケーキを作ると聞きました。今日、ケーキを作る所を見せてもらったけれど、１個作るのに３０分くらいかかっていたので、その大変さが分かりました。　　（１年２組　　）

アスレチックトレーナーをされている安藤さんは、長距離走の大会で、膝を痛めてしまい、思うような走りができなかったので、これからそのようなことが起こらないようにするため、アスレチックトレーナーを目指したということを教えてもらいました。民泊経営をされている鈴木さんからは、英語が全然話せなかったのに、海外に一人旅に出て、自分で宿を探しながら旅を続けたという経験をし、それが仕事に役立っているということを聞きました。それを聞いて、とても勇気がいることで、すごいなと思いました。これから僕も、いろいろなことに挑戦していきたいと思いました。（１年２組　　）